

「JFN賞2017」各賞決定！

■企画部門大賞
(該当なし)

■CM部門大賞
FM GUNMA 「FM GUNMA 特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編
下村さん ver.改訂」(60 秒)

■CM統一部門 いなばのタイカレー賞
FM 宮崎 「夫婦の隠し味」(40 秒)

■JFN学生ラジオCMコンテスト2017 最優秀賞
松山 晃大さん(大阪芸術大学/40 秒)

TOKYO FM をはじめ全国 FM 放送協議会 (JFN 会長：富木田道臣) 加盟 38 社が、放送活動並びに新規事業の活性化とクオリティ向上を目指し、社会的影響力や企画力等、JFN グループ全体の発展に大きく貢献した事績を表彰する「JFN 賞 2017」の各賞が決定し、7月20日(木)に TOKYO FM ホールにて表彰式が行われました。

「企画部門」優秀賞には、@FM (FM AICHI) 「タイ国際航空『TG でら夜便』サポーターズキャンペーン企画」、FM 三重「第1回 レディオキューブオータムフェスタ パン&ワイン de 大人の休日 輸入車&おしゃれ雑貨も大集合」、JFNC 「TOKYO FM、広島 FM、ジャパンエフエムネットワーク共同制作 夏休み特別企画『八月の光』」がそれぞれ選ばれました。

次に、「CM 部門」の最優秀作品に贈られる「CM 大賞」には、FM GUNMA 制作の「FM GUNMA 特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編下村さん ver.改訂」(60 秒)、第1部門最優秀賞(20 秒以内)には、@FM (FM AICHI) の「@FM 防災キャンペーン To keep life『泥棒』」(20 秒)、第2部門最優秀賞(21 秒以上)には TOKYO FM の「トイレが流してくれたもの」(60 秒)がそれぞれ選ばれました。

また、JFN 加盟各社が制作し、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回はいなば食品株式会社の協賛を得、「いなばのタイカレー賞」を競い、FM 宮崎の「夫婦の隠し味」(40 秒)が選出されました。

特別審査員独自の視点から高い評価を認められた作品に対して贈られる弘兼憲史賞、谷山雅計賞、箭内道彦賞には、TOKYO FM 制作の「おききぐるしい CM」(20 秒)、FM 北海道制作の「エフエム北海道 防災 CM『広い』」(40 秒)、FM 岡山制作の「茂ちゃんの交通情報『雨の日運転』」(20 秒)がそれぞれ選ばれました。

全国の学生が、自身の学校をPRするラジオCMコピーを競う「JFN 学生ラジオCM コンテスト 2017」は6回目を迎え、大阪芸術大学の松山晃大さんが最優秀賞を、東北芸術工科大学の熊谷安莉沙さん、東京工業大学の安智潤さんがそれぞれ優秀賞を受賞しました。

今回の「JFN 賞 2017」について、特別審査員長の弘兼憲史氏は、「今回、大変珍しいことが起きました。第2部門で、我々特別審査員と制作者審査員の評価が、1位から4位まで全く同じでした。その後3作品の方も、順番が少し違うのですがほとんど同じでした。今まで20年ほど審査をしている中で、初めてこういう現象が起きました。ということは、今回の受賞作品というのは揺るぎない、皆さんが認めるような素晴らしい作品だったと感じております。」と述べました。

自身で選出した弘兼憲史賞受賞作品、TOKYO FM制作の「おききぐるしいCM」（有明興業株式会社/20秒）については、「この会社がリサイクルの会社なものですから。ナレーションが一人の声ではなくて、色々な人の声を組み合わせて作った、タイトルの通り「おききぐるしいCM」なんです。私も最初に聞いた時は何を言ったのかよくわからなかったのですが、もう1回流れた時に『この間のコマーシャルだな。何を言ったのかちゃんと聞いてみよう』という気になるという面白い効果もありますし、何よりも手法が斬新だったということで、私はこれを推薦いたしました。」と述べました。

特別審査員の谷山雅計氏は、「今日選ばれた作品はみんな、『何を言って、何を言わないか』の選択をちゃんとしていると思います。広告というものは、100の言いたいことがある時に100を言おうとすると、興味がない人は遮断して、伝わるものが0になってしまうんです。だから、100の中の10を見つける。逆に言うと、90の言わないことを見つけることこそが広告だと、僕は思っております。来年に向けて是非、言うことを見つけた後に『ここは言わない・言う』という考えを持っていただくと、皆さんがお作りになる広告はどんどんレベルが上がっていくのではないかと、僭越ながら一言申し上げておきたいと思っております。」と述べました。

自身で選出した谷山雅計賞受賞作品、FM北海道制作「エフエム北海道 防災CM『広い』」（株式会社エフエム北海道/40秒）に関しては、「このような賞の審査をする時に、聞き終わった後に、自分の心の中に何が残っているんだろうということを考えていて、その残っているものの価値で選びたいと思っています。そういう意味で言うとやはり、ラジオというものの、不慮の時の頼もしさが、しっかり残る。単に面白いだけとか感動しただけではない『実質的な何か』が残ることを考えて、その部分を評価させていただきました。」と述べました。

同じく、特別審査員の箭内道彦氏は、「今回の審査会は、集まった制作者の方々の思いに溢れた、すごくいい審査会でした。それをそのまま、ラジオの明日や可能性、CMの可能性として、昨年、一昨年以上に強く感じることができました。これは各局の皆さんが、エース級、若手の方々をこの審査会に送り込んでくださった賜物です。今年の審査会は、まだまだ足りない部分もありましたけれど、集まった皆さんが新しいCMを作ることへの期待を非常に強く感じる事ができた審査会でした。」と述べました。

自身で選出した箭内道彦賞受賞作品、FM岡山制作「茂ちゃんの交通情報『雨の日運転』」（株式会社茂山組/20秒）については、「雨が降ったら、事故が普段の5倍あるようです。車の運転に気を付けてくださいと言っているだけなんです。本当は他にも言いたいことがたくさんある会社が、みんなの安全を祈ってこのように発信してくれる。すごくラジオらしい、リスナーの皆さんへの温かい寄り添い方というか、共に日々を過ごしているラジオの良さが詰まったCMなんじゃないかなと思ひ、選ばせていただきました。」と述べました。

各賞の結果は次の通りです。

◎JFN 賞・企画部門

「JFN 賞・企画部門」は、加盟各局がエントリーした放送・事業・営業活動事例の中から、JFN 各委員会委員長から成る「JFN 賞選考委員会」にて選定されました。今年の審査対象は、2016年4月1日から2017年3月31日までの間、JFN 加盟各局が活動した作品です。今年は、エントリー29社51件の中から、以下の各賞が決定しました。

■大賞

該当なし

■優秀賞

@FM (FMAICHI) / タイ国際航空『TG であら夜便』サポーターズキャンペーン企画

タイ国際航空『TG であら夜便』は、深夜便ならではのリーズナブルさと利便性から、大学生が訴求ターゲットとなっていることに着目し、タイ国際航空とタイアップ。大学生に「タイの魅力を SNS を活用して発信すること」をテーマとして、コンペ形式で競争しながら魅力を発見して貰う体験型企画である。クライアントの満足度も高く、レギュラーキャンペーンを実現した。

(営業部門申請)

■優秀賞

FM 三重 / 第 1 回 レディオキューブオータムフェスタ

パン&ワイン de 大人の休日 輸入車&おしゃれ雑貨も大集合

大人の女性が、休日のお昼をおしゃれに過ごせることを目的に、県内で人気のパン屋さんを中心に、ワインが飲める店、番組パーソナリティプロデュースの店、おしゃれ雑貨の店による出店販売に加え、世界 6 カ国の輸入車の展示、協賛企業ブース、フラメンコやタンゴ等、世界の音楽のステージ演奏による屋外イベントを実施。パンとワインのイベントは FM らしいお洒落なイメージがあり、来場数は 12,000 人にもものぼり、第二弾のイベントや、「パンとワインのグルメ本」を発刊することとなった。

(営業部門申請)

■優秀賞

JFNC / TOKYO FM、広島 FM、ジャパネット共同制作

夏休み特別企画「八月の光」

戦後 71 年目を迎え、広島を舞台に、原爆が投下された日とその後を描いた、朽木祥原作の短編集「八月の光・あとかた」の中から、「石の記憶」、「水の緘黙」の 2 作品の朗読を軸に番組を構成。「八月の光」という表題は、原爆投下による“光”のことで、被爆 2 世である作者が、丁寧な取材と筆致によって、実体験を戦争記録としてだけではなく、誰の心にも響く“魂の物語”として描き、それを読み聞かせというドラマ形式での番組とした。

(番組部門申請)

■奨励賞

広島 FM / ～厳島神社世界遺産登録 20 周年特別番組～

宮島×モン・サン・ミッシェル 音の旅

厳島神社が世界遺産登録 20 周年を迎えたことを記念して、宮島と友好都市提携を結ぶモン・サン・ミッシェルの海に浮かぶ二つの神の島が、世界遺産としてどのような共通点を持つのか、「音集めの旅」をテーマに特別番組を制作。モン・サン・ミッシェルのミサで奏でられる、1000 年以上前に初めて作られた弦楽器「シター」や、迫力がありながらも繊細な「パイプオルガン」の音色、旅感を出すために日常にあふれている音を収録し、ラジオならではの“音”を存分に活かした番組となった。

(番組部門申請)

■奨励賞

FM 佐賀 / FM 佐賀特別ラジオドラマ リコー三愛グループ presents

「あけのひ、あっかいとなつ～市村清物語～」第 1 部 創世記 / 第 2 部 革新紀

貧しい農家に生まれながら、戦前から戦後の激動の時代に一代で「リコー三愛グループ」を築き上げ、「起業の神様」、「アイデア社長」と言われた市村清が、その生涯においてどう生き、何を考え、どんなメッセージを今の時代に残したのか、波乱万丈な人生をラジオドラマで紹介した。「あけのひ、あっかいとなつ」とは、古い佐賀弁で「翌日、雲が晴れて明るくなってくる」という意味で、市村清の不屈の精神とその人生を表現した。古い方言を使うことで時代背景を表すと共に、その時代の偉人や方言を大切に思い出して欲しいとの思いを込めている。

(番組部門申請)

■特別賞

TOKYO FM / ミュージックドキュメント 井上陽水×ロバートキャンベル

「言の葉の海に漕ぎ出して」2016年11月23日(水・祝)19:00~20:47

日本の音楽シーンをリードしてきた歌手・井上陽水。ロバートキャンベルは、2011年の入院生活を機に、本人の許可を得て陽水の歌詞の英訳を始めたところ、「あいまいな歌詞」、「あいまいな表現」に頭を抱える事となった。二人の真剣かつユーモラスな対談を軸に、「時代と音楽」、「音楽と言葉」、「表現の本質」に迫っていく番組。朗読は三上博史で、音楽、言葉、社会が交差する新しい「大人のための知的音楽教養番組」を、ラジオならではの表現で制作した。

(番組部門申請)

■特別賞

K-mix / 番組内における10年間の「読み聞かせ」企画の継続放送

2007年に番組取材で縁を得た「うちどく」運動に共感し発案。出版社等の協力を得て、番組内で読み聞かせコーナーをスタートした。2014年4月からは、朝の生ワイド内コーナーに組み込み、足掛け10年に亘って継続している。番組で朗読した絵本は、県下書店とタイアップしてオリジナルポスターを作成し、専門コーナーを設置している。また、番組で取り上げた絵本(年間約50冊)を、毎年1回「静岡県立こども病院」へ9年間継続して寄贈している。読み聞かせ企画の「継続」、書店との連動による「地域密着」、寄贈による「社会貢献」の好循環が評価され、県内及びメディアとして初めての「第10回高橋松之助記念 朝の読書大賞 文字・活字文化推進大賞」を受賞した。

(番組部門申請)

■地域賞

FM 仙台 / all strings attached ~東北でエレキ・ギターが生まれた~

東日本大震災後に、ギターで復興を後押しできないかと、宮城県女川町でギターの製作を始めた梶屋陽介氏が手掛ける、独創的なギター誕生秘話を紹介。梶屋氏が製作するエレキ・ギターは、震災からの復興のシンボルでもあり、地方から世界を目指すという大きな夢の第一歩でもある。“エレキ・ギターのある充実した生活のデザイン”というコンセプトをキーワードに、1930年代に発明されて以来、様々なモデルが生み出され、人々を魅了し続けるエレキ・ギターの魅力について、日本のトップギタリストたちも語る“ギター愛”に溢れた特別番組。

(番組部門申請)

■地域賞

FM 栃木 / 平成28年度文化庁委託事業『「生活者としての外国人」のための日本語教育事業』「にほんご・しち・ご」の企画および放送

平成28年度文化庁委託事業として、小山市のきぼう国際外語学院が受託した事業「外国人、日本人への『やさしい日本語』の普及と『やさしい日本語』による日本語教育体制整備」の一環として、県在住の外国人が日本語で作成した川柳を詠み、講師が解説を加える4分間の番組「にほんご・しち・ご」を企画・制作・放送した。日本の国際化のためには英語が必要と思いがちだが、英語圏以外の外国人には「やさしい日本語(平易な日本語)」が有用ということ、「外国人が見た日本」という楽しい話題の中に、少しずつ織り込むことを意識した。

(番組部門申請)

■地域賞

FM 新潟 / 「ヤンの気ままにドライブ」放送10周年「ヤン気まっぷ」の作成

人気パーソナリティのヤンが、高速道路を使って新潟県内をあちこちドライブしながら、観光・グルメスポットを素直な感情と共にレポートする人気プログラム番組が、2016年で10周年を迎えた。番組内でレポートされた一般的な観光情報誌には載っていないお勧めの県内の観光・グルメスポット等の中から、厳選した40カ所をピックアップし、地域密着型の観光ガイドマップを作成して、NEXCO 東日本エリアのSA・PAに幅広く設置した。

(営業部門申請)

■地域賞

FM 高知／FM 高知 防犯ブザープレゼントキャンペーン

地域に根差すメディアとして、児童を卑劣な犯罪から守るため、毎年、高知県内の新小学一年生全員に防犯ブザーを配布している。併せて、ラジオによる啓発スポット放送等を展開し、犯罪の未然防止に努めている。2005年からスタートした当キャンペーンは、2016年度で12年連続の実施となり、防犯活動として地域に根付くと共に、営業収入も年々増加し、大きな営業キャンペーンへと成長した。

(営業部門申請)

■地域賞

FM 熊本／FMK 熊本地震復興応援プロジェクト～with～

※毎週(日)9:45～放送中(10分プログラム)

2016年(平成28年)4月、僅か28時間の間に震度7の大地震に2度も見舞われ、その直後はギリギリの体制で災害特別放送を行った。被害の大きかった地域の被災者の取材を続けるうち、“生の声”を継続的に広く熊本県民に届けていく重要性を考え、6月から毎週日曜の朝10分のレギュラー番組として放送をスタート。「どんなに困難な状況であっても“みんなで一緒に”乗り越えて行こう!」という想いを込めて「～with～」という番組タイトルとし、複数のパーソナリティがそれぞれの想いを添えて放送している。復興に向けて前向きに進んでいきながらも、この“熊本地震”を風化させないため、番組を継続していくことの意義を十分に感じながら制作・放送を続けている。

(番組部門申請)

◎JFN賞・CM部門

JFN加盟38社のCM制作力の向上と、CMを通じて地域社会の文化に貢献する事を目的として優秀CM作品を表彰するのが「JFN賞・CM部門」です。今年の審査対象は、2016年4月1日から2017年3月31日までの間、JFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCMです。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力(CM効果)が審査基準となります。今年は、エントリー総数124本の中から、特別審査員長の弘兼憲史氏(漫画家)、特別審査員の谷山雅計氏(コピーライター)、箭内道彦氏(クリエイティブディレクター)をはじめ、企業審査員、JFN各社のCM制作担当者38名による「公開審査会」で、以下の各賞が決定しました。

【CM大賞】

FM GUNMA 「FM GUNMA 特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編下村さん ver.改訂」
(株式会社エフエム群馬／60秒)

【第1部門 最優秀賞】※20秒以内(エントリー数=65本)

@FM (FM AICHI) 「@FM 防災キャンペーン To keep life『泥棒』」
(株式会社エフエム愛知／20秒)

【第2部門 最優秀賞】※21秒以上(エントリー数=21本)

TOKYO FM 「トイレが流してくれたもの」(TOTO株式会社／60秒)

【統一部門 いなばのタイカレー賞】 エントリー数 40秒=38社38本

FM 宮崎 「夫婦の隠し味」(いなば食品株式会社／40秒)

【JFN学生ラジオCMコンテスト2017】

最優秀賞 松山晃大さん (大阪芸術大学／40秒)
優秀賞 熊谷安莉沙さん (東北芸術工科大学／20秒)
優秀賞 安智潤さん (東京工業大学／20秒)

【奨励賞】

○地域ブロック賞

・北海道・東北

- FM 岩手 「ワライカワセミ」(公益財団法人盛岡市動物公園公社/10 秒)
- ・ 関東・甲信越・静岡
TOKYO FM 「おききぐるしい CM」(有明興業株式会社/20 秒)
- ・ 中部・北陸
@FM (FM AICHI) 「@FM 防災キャンペーン To keep life 『祝辞』」
(株式会社エフエム愛知/60 秒)
- ・ 近畿・中国・四国
FM 大阪 「『FM OH!』ステーションネーム変更告知『3つの坂』」
(株式会社エフエム大阪/40 秒)
- ・ 九州・沖縄
FM 鹿児島 「ずっと…は存在しない」(竹添不動産/30 秒)

【制作者審査員賞】

FM GUNMA 「FM GUNMA 特殊詐欺対策キャンペーン『実験』編下村さん ver.改訂」
(株式会社エフエム群馬/60 秒)

【弘兼憲史賞】

TOKYO FM 「おききぐるしい CM」(有明興業株式会社/20 秒)

【谷山雅計賞】

FM 北海道 「エフエム北海道 防災 CM『広い』」(株式会社エフエム北海道/40 秒)

【箭内道彦賞】

FM 岡山 「茂ちゃんの交通情報『雨の日運転』」(株式会社茂山組/20 秒)